

2025 北方領土返還要求 北海道・東北国民大会



色丹島 イネモシリ海岸での鱈干し 「千島歯舞諸島居住者連盟」提供

と 令和7年
き 8月29日 金 13:00~

ところ 共済ホール
札幌市中央区北4条西1丁目1
共済ビル6F

主 催

北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会(構成:43機関・団体)

後 援

外務省 内閣府北方対策本部 北海道・東北六県議会議長会
東北市議会議長会 北海道、東北町村議会議長会 北海道議会
北海道市議会議長会 北海道町村議会議長会 北海道教育委員会

青森県

秋田県

岩手県

山形県

宮城県

福島県

大会プログラム

第1部

- 1 開会のことば 北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会委員長
北海道女性団体連絡協議会監事 北岸由利子
- 2 大会長あいさつ 大会長 北海道知事 鈴木 直道
- 3 東北六県知事代表あいさつ 名誉大会長 福島県知事代理 福島県副知事 鈴木 正晃
- 4 来賓紹介
- 5 来賓あいさつ 内閣府大臣政務官 今井絵理子
外務大臣代理 外務省欧州局審議官 石川 誠己
北海道・東北六県議会議長会代表 北海道議会議長 伊藤 条一
- 6 メッセージ披露
- 7 返還アピール 国後島 泊村 3世 志賀 里乃
- 8 元島民の声 択捉島 紗那村 元島民 安藤 弘子
- 9 大会宣言 副大会長 公益社団法人北方領土復帰期成同盟会長 渡邊 修介
- 10 大会決議 副大会長 秋田県北方領土返還促進協議会会長 工藤 嘉範
- 11 閉会のことば 北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会副委員長
山形県北方領土返還促進協議会事務局次長 松野 善幸

第2部

公 演

北方領土漫才「ふるさと」

アップダウン

2025北方領土返還要求北海道・東北国民大会御来賓

内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）北方対策本部長

外務大臣

自由民主党北海道支部連合会会長

立憲民主党北海道総支部連合会代表代行

日本維新の会北海道総支部代表

国民民主党北海道総支部連合会代表

公明党北海道本部代表

日本共産党北海道委員会委員長

社会民主党北海道連合代表

新党大地代表

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

参議院議員

北海道・東北六県議会議長会代表

北海道議会北方領土対策特別委員会委員長

北海道議会北方領土対策特別委員会副委員長

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会北方領土対策特別委員会委員

北海道議会議員

北海道議会議員

北海道議会議員

北海道教育委員会教育長

北海道市議会議長会会長

別海町長

中標津町長

標津町長

羅臼町長

根室市議会議長

別海町議会議長

中標津町議会議長

標津町議会議長

羅臼町議会議長

衆議院議員

参議院議員

衆議院議員

衆議院議員

衆議院議員

参議院議員

北海道議会議長

札幌市議会議長

伊岩 東 良 孝 様
岩 屋 毅 様
武 部 新 様
勝 部 志 様
守 島 正 様
臼 木 剛 様
佐 藤 道 様
千 葉 隆 様
相 馬 幸 様
鈴 木 男 様
鈴 木 子 様
中 村 之 様
松 木 裕 様
神 谷 樹 様
道 下 優 様
荒 井 紀 様
池 田 紅 様
お 田 奈 様
篠 木 秀 様
白 本 剛 様
岩 橋 は 様
高 鈴 宗 様
船 野 利 様
東 永 秀 様
徳 部 工 様
勝 横 信 様
佐 々 木 雅 様
伊 藤 秋 様
久 保 上 様
瀧 高 橋 様
平 池 出 様
富 本 原 様
阿 知 良 様
新 沼 村 様
植 田 田 様
岡 林 様
黒 木 市 様
小 鈴 武 司 様
武 中 松 浦 様
山 崎 島 内 様
中 長 曾 根 村 口 様
西 山 湊 塚 原 様
後 田 藤 川 様
小 佐 藤 様

大 会 宣 言(案)

択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島からなる北方四島は、私たちの先人が血と汗で開拓した地として受け継いできたものであり、いまだかつて一度も外国の領土となったことがない我が国固有の領土である。

北方領土問題をめぐっては、令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵略に起因し、ロシア政府が、平和条約交渉を継続しない等の措置を一方的に発表し、さらに、四島交流及び自由訪問に係る合意の効力を停止する旨の政府令を発表するなど、日露関係は厳しい状況にあり、戦後80年が経過した今日においても、いまだ問題解決の道筋は見えない。

政府においては、今後ともロシアとの交渉を強力に進め、一日も早く具体的な成果が得られることを期待する。

北方四島を追われ、一日も早い故郷の祖国復帰を望む元島民の方々の多くが他界されており、生存されている方も高齢となる中、これ以上、領土問題の解決に歳月を費やすことは許されない。

私たちは、今後とも北方四島の一括返還の実現を目指し、政府の外交交渉を後押ししていくとともに、粘り強く北方領土返還要求運動に取り組み、更なる世論の喚起を図ることを、新たな決意のもと本大会の名において宣言する。

令和7年8月29日

北方領土返還要求北海道・東北国民大会

大 会 決 議(案)

北方領土、すなわち択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島は、歴史的にも法的にも我が国固有の領土であるにもかかわらず、戦後80年が経過した今日もなおロシアに不法占拠されており、北方領土問題の解決は日本国民の悲願である。

特に、父祖伝来の地として受け継いできた四島^{しま}を追われた元島民は、一日も早い北方領土の返還を一心に願っている。

この願いが、北方領土返還要求運動の源であり、さらに国民一人ひとりの領土返還を求める思いが込められた返還要求署名は9千万人を超えている。

私たちは、返還を切望する元島民や後継者をはじめ、日本国民の心情を重く受け止め、より一層国民世論の結集に努める決意である。

政府、国会においては北方領土問題の早期解決のため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 一 北方四島の一括返還の実現に向け、毅然たる姿勢で外交交渉に臨むこと。
- 一 国内世論の高揚と結集及び国際世論の喚起促進を図ること。
- 一 北方領土教育の拡充強化と青少年に対する啓発活動の促進を図ること。
- 一 北方四島交流等事業の早期再開と円滑な推進を図ること。
- 一 北方四島における共同経済活動は、領土返還に結びつくよう協議を進めること。
- 一 北方四島周辺水域における安全操業を確保すること。

以上決議する。

令和7年8月29日

北方領土返還要求北海道・東北国民大会

北方領土返還要求北海道・東北国民大会役員

顧問	北海道市長会会長	副大会長	札幌市長
	東北市長会会長		根室市長
	北海道町村会会長		独立行政法人北方領土問題対策協会理事長
	北海道東北六県町村会協議会会長		公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟理事長
名誉大会長	青森県知事		青森県北方領土返還促進協議会会長
	岩手県知事		北方領土返還要求運動岩手県民会議会長
	宮城県知事		北方領土返還要求宮城県民会議会長
	秋田県知事		秋田県北方領土返還促進協議会会長
	山形県知事		山形県北方領土返還促進協議会会長
	福島県知事		北方領土返還要求運動福島県民会議会長
大会長	北海道知事		公益社団法人北方領土復帰期成同盟会長

北方領土返還要求北海道・東北国民大会実行委員会構成団体

青森県	根室町村会
青森県北方領土返還促進協議会	根室市北方領土返還要求推進協議会
秋田県	福島県
秋田県北方領土返還促進協議会	北海道
岩手県	北海道市長会
一般財団法人北海道連合遺族会	北海道商工会連合会
一般財団法人北海道老人クラブ連合会	北海道女性団体連絡協議会
一般社団法人札幌市老人クラブ連合会	北海道森林組合連合会
一般社団法人北海道商工会議所連合会	北海道青年団体協議会
一般社団法人北海道水産会	北海道中小企業団体中央会
公益社団法人隊友会北海道隊友会連合会	北海道町村会
公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会	北海道東北六県町村会協議会
公益財団法人北海道青少年育成協会	北海道農業協同組合中央会
公益社団法人自衛隊家族会北海道地域協議会	北方領土返還要求運動岩手県民会議
公益社団法人千島歯舞諸島居住者連盟	北方領土返還要求運動福島県民会議
札幌市	北方領土返還要求宮城県民会議
札幌市連合遺族会	宮城県
日本労働組合総連合会北海道連合会	山形県
東北市長会	山形県北方領土返還促進協議会
独立行政法人北方領土問題対策協会	北方領土復帰期成同盟札幌地方支部
根室管内漁業協同組合長会	公益社団法人北方領土復帰期成同盟
根室市	

歴史が語る真実 —領土の画定—

江戸時代



江戸幕府撰
正保日本図
(1644年)

1604年(慶長9年)、江戸幕府は松前藩に蝦夷地での交易権を認めました。松前藩は、北方領土や千島列島に住むアイヌの人々とも交流を始めました。

1 日魯通好条約(1855年)



日露の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島は日本の領土として画定されました。また、樺太は両国民の混住の地となりました。

2 樺太千島交換条約(1875年)



千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島を放棄しました。ウルップ島より以北を日本が譲り受けることを定めています。

3 ポーツマス条約(1905年)



1904年(明治37年)の日露戦争の後、この条約で樺太の北緯50度以南が日本の領土となりました。

北方領土関連年表 —江戸時代からソ連の占拠まで—

1635年	松前藩、北海道全島及び千島、樺太を含む蝦夷地方の調査を行う。
1644年	江戸幕府、「江戸幕府撰正保日本図」を作成し、「クナシリ、エトホロ、ウルフ」などの島名を記載する。
1785年	最上徳内、幕府の命により国後島、択捉島へ向かい、調査する。
1798年	近藤重蔵、最上徳内、択捉島に渡り「大日本恵登呂府」の標柱を建てる。
1799年	高田屋嘉兵衛、国後・択捉島間に航路を開く。
1800年	近藤重蔵、高田屋嘉兵衛らを択捉島に派遣、漁場を開き、行政府をおく。
1808年	間宮林蔵、樺太を探検する。

1855年 日魯通好条約を結ぶ。

1875年 樺太千島交換条約を結ぶ。

1905年 ポーツマス条約を結ぶ。

1925年 日ソ基本条約に調印。(日ソ国交樹立)

1945年 日本がポツダム宣言を受諾、終戦。
その後ソ連が北方四島を不法占拠する。

ソ連が千島列島ならびに南樺太の領有を宣言する。
1946年 ソ連が千島列島・樺太・色丹島・歯舞諸島(現、歯舞群島)をソ連に編入することを宣言する。

今も昔もこれからも北方領土は日本の領土

(令和6年度北方領土問題キャッチコピー―最優秀賞作品)



北方領土返還要求運動
のシンボルの花(千島桜)



■お問い合わせ

公益社団法人 北方領土復帰期成同盟

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 敷島プラザビル3階
TEL.011-205-6500